

第2回PDA関西公立高校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年8月25日（土）13:00-17:00

参加者：全6校、生徒40名

（北野高校、堀川高校、奈良高校、彦根東高校、膳所高校、神戸高校）

協力：校長会

助成：駐大阪・神戸アメリカ総領事館、公益財団法人 日本財団、

講師：PDAスタッフ、京都大学、九州大学

開会式では、本交流大会の開催場所である北野高校の恩知校長先生より、生徒たちへ激励のお言葉をいただきました。「昨年を引き続き、2回目の開催となります。2回目の参加の人も、今年が初めての人もいます。高校の名前だけ知っているライバル校ではなく、顔もわかるライバル校にぜひなってくださいと昨年挨拶しました。今年も、6校の校長先生方にご協力いただいて、この交流大会が開催できました。これから言葉の格闘技が始まります。13:15と17:00の自分が変わるように頑張ってください。」その後、POI（質疑応答）のポーズの練習を行い、いよいよ第1ラウンドが始まりました。



早速第1ラウンドの始まりです。論題は、「アメリカに留学するなら、大学入学後よりも、高校在学中にしたほうがよい。」でした。準備時間では、自分が今アメリカに行ったら何を学べるか、どこが限界なのか、大学生ならではの選択肢とは何かなど、様々な視点でチームメイトと議論を交わしながら立論や反論を考えていきました。ラウンド中にはPOI（質疑応答）も活発に飛び交い、相手から質問を受け、それに返答することによってより深い議論を展開していました。ラウンド終了後も、本当はもっとこういうことを言いたかった！とお互いに交流を深め合いました。

第1ラウンドを終え、続いて第2ラウンドです。論題「選挙での男女の候補者数を均等にすべきである。」を発表すると、会場からは難しいという声もちろほら聞こえましたが、準備が始まるとジェンダー平等などについて意見を深めることができました。ラウンドが始まると、ジェンダー平等の視点だけでなく、現状で足りていない女性のための政策についてや政治の質など政治という視点からも白熱した議論が展開されました。また、POIでは、単に相手の言っていることがわからず、繰り返しを求めるPOIだけでなく、相手の痛いところをつくようなPOIも多く見られました。



4. エキシビション

2ラウンドを終えたところで、ジャッジがもう一度ディベートをする姿を見たいと推薦したエキシビションに出場することになる6名の生徒が選ばれました。古典的な論題であり、かつ死刑執行（オウム真理教）などタイムリーな話題でもある「日本は死刑を廃止すべきだ。」が論題です。ジャッジの生徒、みなさんが沈黙で見守る中、白熱したディベートの火ぶたが切られ、エキシビションにふさわしく、POIや反論の応酬が続きました。戸惑いながらもなんとか意見を伝えようと、必死で試行錯誤する同志たちの姿をじっと見つめる観客の生徒たちの姿も印象的でした。ジャッジや聴衆をよく見て、自信たっぷりにスピーチすることができました。時にはジェスチャーも用いながら自分の伝えたいことをより効果的に伝えることができていました。ディベート後、握手でお互いの健闘をたたえ合いました。



あっという間に全てのディベートが終了し、表彰も終えて安心した生徒たちに、各校の校長先生からご講評をいただきました。

奈良高校校長 安井先生「各学校では皆さんベストディベーターかもしれませんが、他校との交流試合を通してまた成長したと思います。」

彦根東高校校長 樫原先生「頭脳のバトルで、頭がフル回転したと思います。若い時にこのような訓練をするということが大切かと思えます。いろんなところで活躍するために、英語をツールとして使えるようになるには今日はとても貴重な機会だったのではないかと思います。他の多くの学校や生徒にも広がればと思います。」

膳所高校校長 小島先生「限られた時間の中で論理を構築し、チームメンバーと話し、みなさんにとってプラスになる場だったかと思えます。与えられた立場で意見を述べるということにチャレンジしたわけですが、社会でも与えられた立場、組織の指針で物事をやるということが増えるので、そういう与えられた役割として、自信を持ってスピーチをするという点も魅力的だと思いました。」

北野高校校長 恩知先生「もどかしい瞬間も全部グッジョブ！ディベート後の握手でお互い尊重してたたえ合うことができるととても良い機会となったのではないのでしょうか。」

校長先生方のコメントを聞き、生徒は自分がディベートしたときのことを思い出し、頷く様子が見られました。

最後に全員で集合写真を撮り、今年に関西交流大会を締めくくりました。



参加者の声 （アンケートより抜粋）

- 本当に本当に楽しかった！！始まる前には不安と緊張でしかなかったけど、POI もいっぱいできたり、反論も言えたりしたことがすごく嬉しかったし楽しかった。もちろんできなかったりももっとこう言ったら良かったなとかあ一言えへんかたっていう場面も多くあったけれどそれも含めてこんな貴重な経験ができたことが本当に良かったし、またこれからもやっていきたい。（堀川）
- 自分よりレベルが高い人（次元が違う人）と交流できモチベーションが上がった。見方が少し変わった。（北野）
- 話きれなくてもどかしい思いもたくさんしたけれど、英語で考えて議論するということの面白さを知ることができました。（膳所）
- とても充実した1日でした。上手な人のように英語が話せるようにしたいと思いました。（神戸）
- 他のライバル校の対戦を生で見られて英語ディベートの迫力を肌で感じる事ができて良かった。（奈良）
- 学校へ帰ってからももっとたくさんディベートをし、上達出来たらなと思います。ディベートが少しすきになりました。（彦根東）
- 1 番初めにやった時は、話が續かなくて悔しかったんですけど、今日は相手の主張の必要な部分を聞き取れて、対応できて本当に良かったです。また、他の学校さんとも一緒にやられて、自分の学校から一歩出てみればこんなにスゴイ人がいるのかと驚きました！！（堀川）
- 日本語ではなく英語では言いたいことがうまく言えなくて頭をフル回転させることすごく **exciting** っていうことか！と実感できた。（奈良）
- 学校であった体験会よりもハイレベルな戦いをすることができて、とても楽しかったです。相変わらず、ぱっと言葉は出てこなかったけれど、チーム全員と楽しく話し合えたりできて良かったです。（膳所）
- 自分の意見を英語で言うのは難しかったけれど、いかに人に伝えられるかを工夫できる楽しさがあった。（神戸）
- 他校の人とディベートをするのはとてもいい刺激になりました。今後はもっと英語を勉強するモチベーションが上がったので、また参加したいです。（堀川）
- とても緊張しました。話す場所に立つと言葉が出なくなるので大変でした。声を大きく人の目を見て話すことを意識していきたいと思いました。いろいろな高校と交流ができてたくさんの考えがあることを実感したし、良い機会でした。（彦根東）

表彰

チーム賞

- 1位 膳所チーム
- 2位 奈良Bチーム
- 3位 堀川Aチーム
- 4位 北野Aチーム
- 5位 堀川Bチーム
- 6位 神戸Aチーム



ベストディベーター賞

- さん 北野高校
- さん 北野高校
- さん 堀川高校
- さん 堀川高校
- さん 堀川高校
- さん 奈良高校
- さん 奈良高校
- さん 膳所高校
- さん 膳所高校
- さん 神戸高校
- さん 神戸高校



POI 賞

■	さん	北野高校
■	さん	北野高校
■	さん	堀川高校
■	さん	堀川高校
■	さん	奈良高校
■	さん	奈良高校
■	さん	膳所高校



エキシビジョンディベーター賞

PM	■	さん	膳所高校
LO	■	さん	北野高校
MG	■	さん	神戸高校
MO	■	さん	奈良高校
LOR	■	さん	堀川高校
PMR	■	さん	奈良部高校

